



写真でみる 50年のあゆみ ⑭



女性会議には現在も市議会議員、県議会議員国会議員と多くの仲間がいます。しっかりした政治意識とジェンダー視点に培われた女性会議の組織と活動は、女性自身の解放と日本社会を民主化し、平和に生きる権利を保障した憲法を根付かせ、次の世代に引継ぐためにも、アジアの人々と真の友好と平和を築くためにも、より重要な役割を担っています。

そのためには会員のエンパワーメントが必要と、2007年から隔年です女性会議セミナーを開催しています。また、50年に際しては「女性会議50年の歴史を学び、ジェンダー平等社会をめざそう」の学習会を提案しました。

女性会議の歴史を学ぶことで、目的に誇りと自信を持って、元気に仲間を増やし、新しい日本社会を作り出すために歩み続けましょう。

女性の政治参加を柱にすえた私たちは、77年の参議院選挙では田中寿美子さんを組織内候補としてたたかいました。83年に引退されたあと、やはり組織内候補を送りだしたいと89年には清水澄子事務局長で参議院選をたたかいました。この時は、同じく比例区で久保田真苗さんが再選、選挙区では篠崎年子さん(長崎)、西岡るり子さん(高知)、森のぶ子さん(岡山)、竹村泰子さん(北海道)、糸久八重子さん(千葉)の当選もあり、大きな力となりました。

また「女性が変われば政治が変わる」とのスローガンで、たくさんの地方議員を送り出す努力を重ねています。

ジェンダー平等社会をめざして

